

ゼクシィ結婚トレンド調査2024

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）が企画運営する結婚情報誌『ゼクシィ』では、新婚カップルの結婚スタイルについて詳細に把握するために、毎年「ゼクシィ結婚トレンド調査」を実施しています。調査結果の一部を抜粋してご報告申し上げます。

- 披露宴・ウェディングパーティーの招待客人数の平均は52.0人で前年調査比105.9%、挙式を含めた総額の平均は343.9万円で前年調査比105.1%となった。
- 結婚に対する考え方やライフスタイル・価値観において、「結婚式の内容に関しては、定番やしきたりとらわれず、二人の価値観に合った自由なやり方をすればよい」と思う割合が3年連続約9割。「ジェンダーにとらわれず、自由に望む生き方を選択できる」と思う割合も2年連続約9割となった。
- 今回の調査の特徴として、二部制の結婚式や子どもと一緒に実施する結婚式、ゲスト参加型やジェンダーにとられない演出を実施する結婚式など、結婚式の多様化におけるさらなる兆しが見えてきている。

1. 挙式、披露宴・ウェディングパーティーの人数や費用（P4～10）

- 招待客人数の平均は52.0人で、前年調査から2.9人増加し、前年調査比105.9%。
- 総額の平均は343.9万円で、前年調査から16.8万円増加し、前年調査比105.1%。

2. 結婚に対する考え方やライフスタイル・価値観（P11）

- 結婚に対する考え方やライフスタイル・価値観において、「結婚式の内容に関しては、定番やしきたりとらわれず、二人の価値観に合った自由なやり方をすればよい」「ジェンダーにとらわれず、自由に望む生き方を選択できる」と思う割合がそれぞれ約9割。
- 結婚に対する考え方において、「結婚を機にイベントを行うときは、自分の所属するコミュニティごとに分けて実施したい」と思う割合が、聴取開始以来過去最高。

3. 結婚式の多様化におけるさらなる兆し（P12～18）

- 二部制の認知率は31.8%。二部制の実施率は23.5%で、聴取開始年（2021年調査）から11.4ポイント増加。
- 二部制実施者は、非実施者に比べて、招待客人数の平均が4.9人多く、総額の平均が16.6万円高い。
- 「子どもがいて、挙式、披露宴・ウェディングパーティーと一緒に出席した」割合は2021年調査以降3年連続で増加。
- 演出を決定する際に心がけたことのうち「列席者も参加できるようにすること」は2018年調査から9.6ポイント増加。披露宴・ウェディングパーティーに関して実施した演出は「招待客みんなが参加できる演出を行う」が3年連続で増加しコロナ禍前の2019年調査を超えて過去7年で最高値。
- 披露宴・ウェディングパーティーに関して実施した演出のうち、2018年調査からの差が最も大きいのは「ウエルカムスピーチを新郎・新婦お二人で行う」で14.0ポイント増加。
- 披露宴・ウェディングパーティーの満足度は、結婚式のスタイルに関わらず引き続き高い。

調査概要	3
1. 挙式、披露宴・ウエディングパーティーの人数や費用	
1-1. 招待客人数	4
1-2. 総額	7
1-3. 招待客一人当たりの費用	8
1-4. ご祝儀総額とカップルの自己負担額	9
1-5. 親・親族からの援助額	10
2. 結婚に対する考え方やライフスタイル・価値観	11
3. 結婚式の多様化におけるさらなる兆し	
3-1. 二部制の結婚式	12
3-2. 子どもと一緒に実施する結婚式	15
3-3. ゲスト参加型の結婚式	16
3-4. ジェンダーレスな結婚式	17
3-5. 披露宴・ウエディングパーティーの満足度	18

調査概要と回答者のプロフィール

調査概要

- 【調査方法】 郵送法
- 【調査期間】 2024年4月2日（火）～5月27日（月）
- 【調査対象】 全国（沖縄県を除く）の『ゼクシィ』読者およびネット会員のうち、2023年4月～2024年3月に挙式または披露宴・ウェディングパーティーを実施した人
 ※2023年4月～2024年3月に結婚・結婚予定があった『ゼクシィ』読者およびネット会員に対して、地域ごとにランダムサンプリングし、事前調査で許諾を頂いた方に対して調査票を郵送。調査票への記入は妻に依頼。
 事前調査 … 調査票発送数：3万6,317件 調査票回収数：5,973件 回収率：16.4%
 本調査 … 調査票発送数：5,973件 調査票回収数：3,656件 回収率：61.2%

【集計サンプル数】

計3,656人〔北海道：237人、青森・秋田・岩手：206人、宮城・山形：197人、福島：166人、茨城・栃木・群馬：238人、首都圏（東京・神奈川・千葉・埼玉）：417人、新潟：190人、長野・山梨：178人、富山・石川・福井：209人、静岡：151人、東海（愛知・岐阜・三重）：300人、関西（大阪・兵庫・京都・奈良・滋賀・和歌山）：402人、岡山・広島・山口・鳥取・島根：278人、四国（愛媛・香川・徳島・高知）：205人、九州（福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島）：282人〕

※地域別の集計は「結婚前の妻の居住地」で行っています。

※全国集計は、下記の15地域別の婚姻件数（令和4年厚生労働省人口動態調査）に合わせてウエイトバック集計を行った推計値を掲載しています（全国＜『ゼクシィ』発行地域外〔沖縄〕を除く＞の婚姻件数合計は49万8,384組）。（全国集計とは、全国（推計値）、妻の年齢別（推計値）、その他の分析軸（推計値）を示します）

※図表中の「-」は回答なし、「0.0」は回答はあるが単位未満、「*」は該当する項目が存在しないことを示しています。

※本文中で使用している時系列のデータは、それぞれ過去に実施した同調査のデータです。調査方法、調査対象者は本年と同様、集計サンプル数については下記の通りです。

	全体	北海道	青森・秋田・岩手	宮城・山形	福島	茨城・栃木・群馬	首都圏	新潟	長野・山梨	富山・石川・福井	静岡	東海	関西	岡山・広島・山口・鳥取・島根	四国	九州
2023年調査	3,703	224	188	217	127	248	517	156	154	183	170	354	390	298	195	282
2022年調査	3,865	232	182	212	143	235	513	173	174	205	196	390	434	272	200	304
2021年調査	3,586	191	113	98	85	239	657	152	139	134	135	452	529	253	106	303
2020年調査	5,392	299	149	222	161	319	911	132	195	180	182	776	858	295	173	540
2019年調査	5,147	319	147	251	131	325	776	152	192	198	173	732	749	288	190	524
2018年調査	5,138	294	150	270	160	411	784	160	196	223	171	513	729	312	213	552

※2020年調査より、調査票全般にわたって、文言を「披露宴・披露パーティー」から「披露宴・ウェディングパーティー」に変更して聴取しています。

回答者のプロフィール

■ 結婚時の夫・妻の年齢（全体／数値回答）

	全国（推計値）							地域別														
	2024年調査	2023年調査	2022年調査	2021年調査	2020年調査	2019年調査	2018年調査	北海道	青森・秋田・岩手	宮城・山形	福島	茨城・栃木・群馬	首都圏	新潟	長野・山梨	富山・石川・福井	静岡	東海	関西	岡山・広島・山口・鳥取・島根	四国	九州
24歳以下	6.3	6.6	6.0	4.9	6.8	8.2	7.8	(n=237)	(n=206)	(n=197)	(n=166)	(n=238)	(n=417)	(n=190)	(n=178)	(n=209)	(n=151)	(n=300)	(n=402)	(n=278)	(n=205)	(n=282)
25～29歳	49.3	49.4	50.5	47.6	49.8	47.3	48.2	52.7	57.3	55.3	47.0	50.0	47.5	46.8	45.5	48.3	54.3	54.0	51.5	46.0	47.3	45.7
30～34歳	26.9	27.6	28.1	30.2	27.8	26.9	28.6	26.2	23.3	24.9	26.5	32.4	25.7	29.5	33.1	28.7	25.8	24.3	29.1	27.0	26.8	27.0
35歳以上	16.7	16.0	15.0	16.6	15.0	16.4	15.3	11.0	13.6	11.7	17.5	9.7	21.1	14.7	14.0	15.8	15.2	15.7	12.9	16.2	16.1	18.4
無回答	0.7	0.4	0.4	0.6	0.6	1.2	0.1	1.3	0.5	1.0	1.2	0.8	0.7	0.5	—	1.4	0.7	0.7	0.5	1.4	0.5	0.7
平均・歳	30.1	30.0	30.0	30.3	29.8	30.0	29.9	29.3	29.4	29.4	30.3	29.6	30.9	29.8	30.0	29.8	30.0	29.8	29.6	29.8	30.1	30.0

	全国（推計値）							地域別														
	2024年調査	2023年調査	2022年調査	2021年調査	2020年調査	2019年調査	2018年調査	北海道	青森・秋田・岩手	宮城・山形	福島	茨城・栃木・群馬	首都圏	新潟	長野・山梨	富山・石川・福井	静岡	東海	関西	岡山・広島・山口・鳥取・島根	四国	九州
24歳以下	8.3	9.8	9.8	8.4	11.6	12.5	11.9	14.8	10.2	8.1	9.6	9.7	5.3	14.7	9.0	7.7	9.3	10.3	8.7	13.3	11.2	7.4
25～29歳	57.1	56.7	58.8	57.7	58.5	56.6	56.9	54.4	58.7	61.9	55.4	56.7	56.8	47.9	57.3	57.9	56.3	64.0	59.0	56.1	52.7	51.4
30～34歳	24.0	24.5	23.2	24.7	22.2	21.4	22.7	20.7	25.2	21.8	23.5	25.6	25.9	28.9	25.8	22.5	25.8	17.3	21.9	16.9	23.4	30.5
35歳以上	10.0	8.6	7.8	8.6	7.1	8.4	8.4	8.9	5.3	7.1	10.2	7.1	11.5	7.9	7.9	10.5	7.9	7.7	10.0	12.6	12.2	9.9
無回答	0.6	0.4	0.4	0.6	0.6	1.1	0.1	1.3	0.5	1.0	1.2	0.8	0.5	—	1.4	0.7	0.7	0.7	0.5	1.1	0.5	0.7
平均・歳	29.0	28.8	28.6	28.8	28.3	28.4	28.4	28.4	28.3	28.6	28.8	28.7	29.5	28.7	28.6	28.7	28.7	28.3	28.7	28.6	29.1	29.2

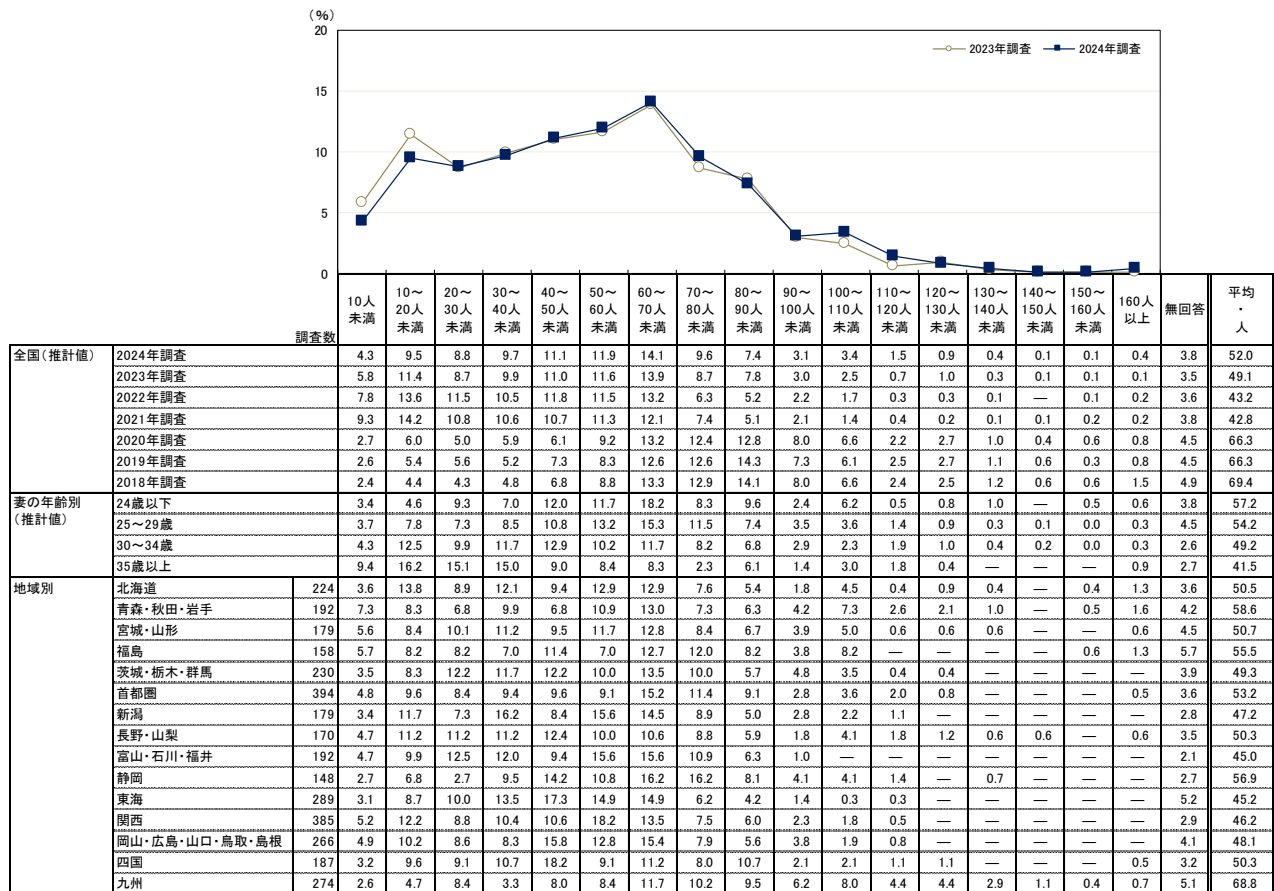
■ 結婚前の妻の居住地（全体／単一回答）

	北海道 (n=237)	青森・秋田・岩手 (n=206)	宮城・山形 (n=197)	福島 (n=166)	茨城・栃木・群馬 (n=238)	首都圏 (n=417)	新潟 (n=190)	長野・山梨 (n=178)	富山・石川・福井 (n=209)	静岡 (n=151)	東海 (n=300)	関西 (n=402)	岡山・広島・山口・鳥取・島根 (n=278)	四国 (n=205)	九州 (n=282)								
札幌市	63.7	青森県	24.8	宮城県	75.1	福島県	100.0	長野県	71.3	富山県	35.4	静岡県	100.0	愛知県	75.7	広島県	47.5	岡山県	40.6	愛媛県	38.0	福岡県	42.6
札幌市以外	36.3	秋田県	27.7	山形県	24.9	栃木県	24.4	神奈川県	22.1	山梨県	28.7	石川県	39.7	岐阜県	13.7	兵庫県	25.4	岡山県	31.3	香川県	25.9	佐賀県	7.8
		岩手県	47.6			群馬県	32.4	千葉県	14.9			福井県	24.9			三重県	10.7	京都府	11.7	山口県	16.9	徳島県	26.8
						埼玉県	17.7									奈良県	5.2	鳥取県	4.3	高知県	9.3	熊本県	13.5
																滋賀県	7.0	島根県	6.8			大分県	9.6
																和歌山県	3.2					宮崎県	4.3
																						鹿児島県	12.1

1-1. 挙式、披露宴・ウェディングパーティーの人数や費用 <招待客人数>

■ 披露宴・ウェディングパーティーの招待客人数の平均は52.0人で、前年調査から2.9人増加。

■ 披露宴・ウェディングパーティーの招待客人数（披露宴・ウェディングパーティー実施者／数値回答）



■ 披露宴・ウェディングパーティーの招待客人数の平均推移

(披露宴・ウェディングパーティー実施者／数値回答)

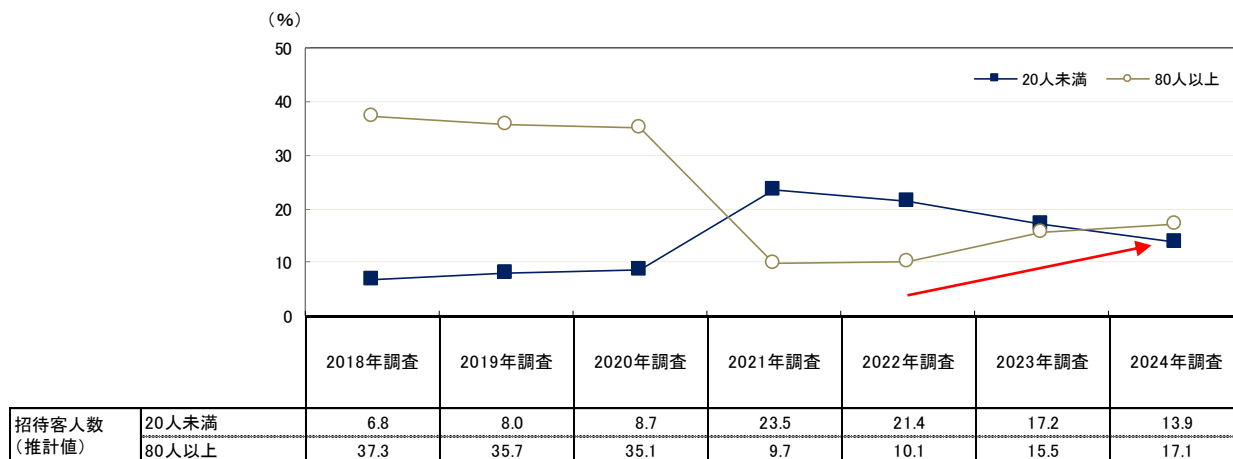


1-1. 挙式、披露宴・ウエディングパーティーの人数や費用 <招待客人数>

- 披露宴・ウエディングパーティーの招待客人数について、「20人未満」と「80人以上」の割合の推移をみると、「20人未満」は2020年調査から2021年調査にかけてコロナ禍で増加した後、3年連続で減少している。一方、「80人以上」はコロナ禍で減少した後、3年連続で増加し、2024年調査では「20人未満」の割合を上回った。

■ 披露宴・ウエディングパーティーの招待客人数

「20人未満」と「80人以上」の割合推移（披露宴・ウエディングパーティー実施者／数値回答）



1-1. 挙式、披露宴・ウエディングパーティーの人数や費用 <招待客人数>

- 新郎・新婦との間柄別の披露宴・ウエディングパーティーの招待客人数の平均は、前年調査から「学生時代の恩師・友人」が1.5人増加、「勤務先の上司・同僚」が1.1人増加。

■ 披露宴・ウエディングパーティーの招待客人数の平均推移

間柄別（披露宴・ウエディングパーティー実施者のうち、各項目の人数回答者／それぞれ数値回答）

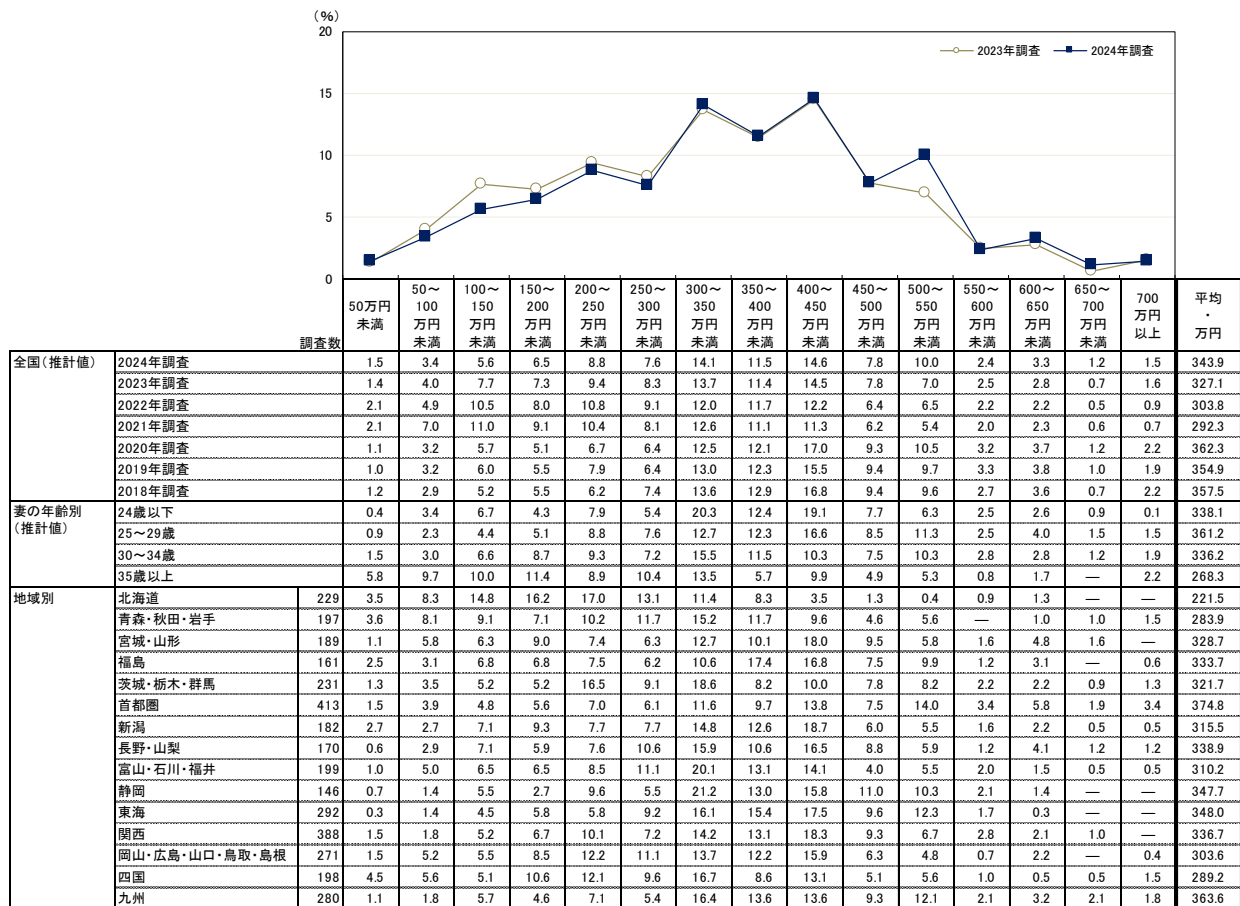
		2018年調査	2019年調査	2020年調査	2021年調査	2022年調査	2023年調査	2024年調査
間柄別 (推計値)	親族	25.1	24.4	23.6	18.4	18.4	20.4	20.6
	学生時代の恩師・友人 (勤務先以外の友人)	26.5	26.2	26.8	16.0	17.9	21.1	22.6
	勤務先の上司・同僚	16.2	15.1	15.0	7.4	6.8	7.3	8.4
	親の友人・知人、近所の人	2.5	2.1	2.1	0.7	0.9	1.0	1.2
	その他	2.6	2.2	2.4	0.9	1.1	1.0	1.5

※間柄別人数は、「親族」「学生時代の恩師・友人(勤務先以外の友人)」「勤務先の上司・同僚」「親の友人・知人、近所の人」(平均・人)
「その他」それぞれを回答した人の平均であり、各項目の平均人数の合計は、全体の招待客人数とは一致しない

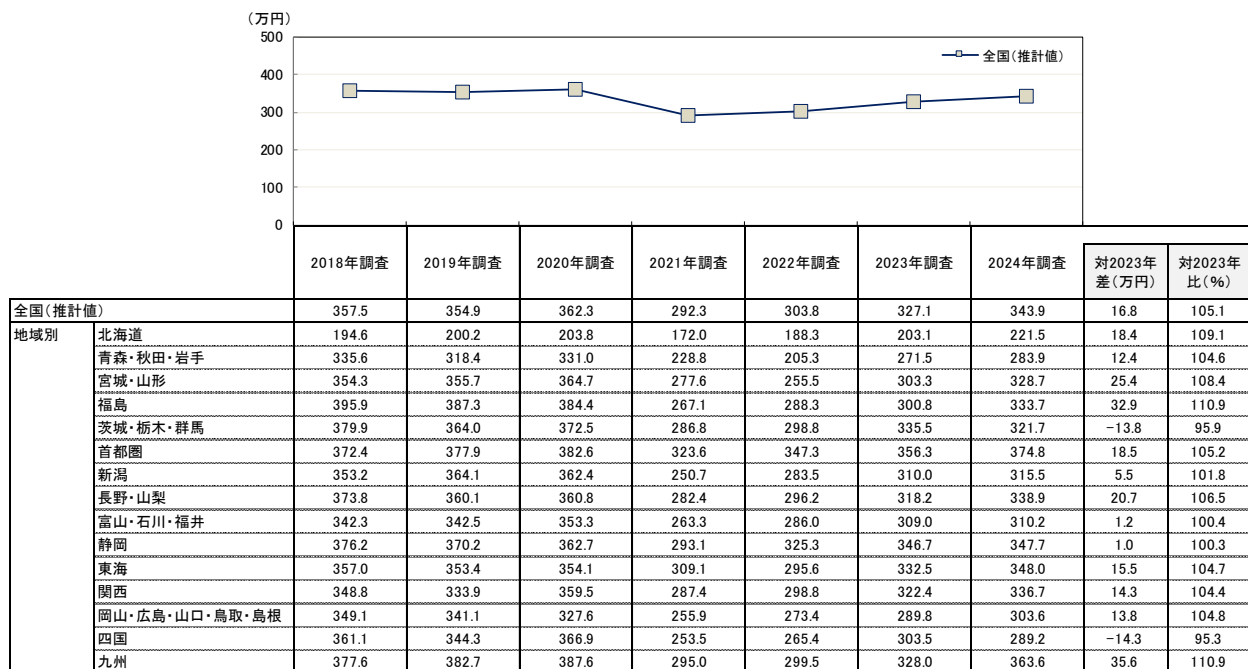
1-2. 挙式、披露宴・ウェディングパーティーの人数や費用 <総額>

■ 挙式、披露宴・ウェディングパーティー総額の平均は343.9万円で、前年調査から16.8万円増加。

■ 挙式、披露宴・ウェディングパーティー総額（金額回答者／数値回答）



■ 挙式、披露宴・ウェディングパーティー総額の平均推移（金額回答者／数値回答）

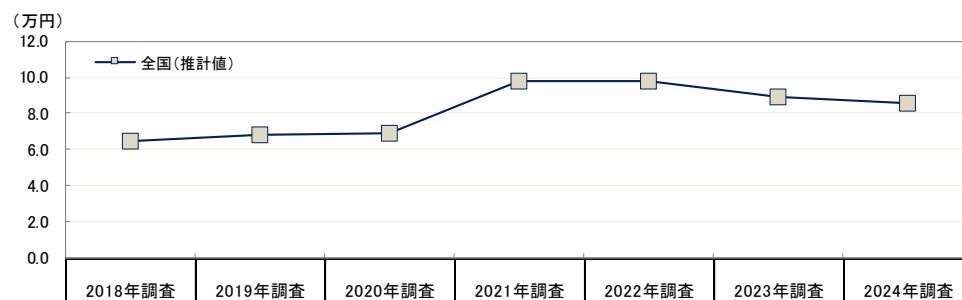


1-3. 挙式、披露宴・ウエディングパーティーの人数や費用 <招待客一人当たりの費用>

■ 招待客一人当たりの挙式、披露宴・ウエディングパーティー費用の平均は8.6万円。

■ 招待客一人当たりの挙式、披露宴・ウエディングパーティー費用の平均推移

(披露宴・ウエディングパーティー実施者のうち、「挙式、披露宴・ウエディングパーティー総額」および「招待客人数」の回答者/数値回答)



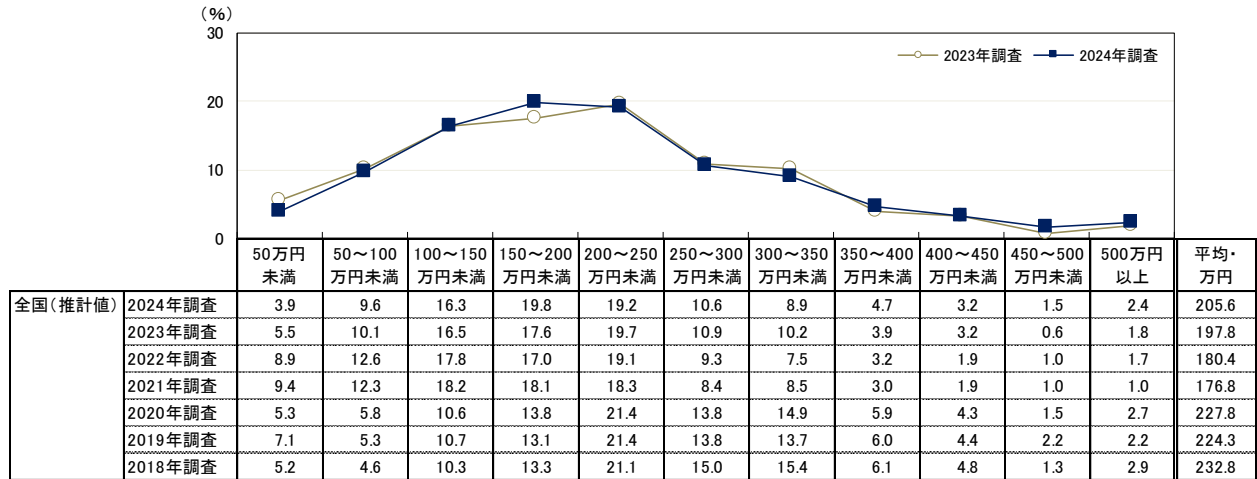
		2018年調査	2019年調査	2020年調査	2021年調査	2022年調査	2023年調査	2024年調査
全国(推計値)		6.5	6.8	6.9	9.8	9.8	8.9	8.6
地域別	北海道	3.8	4.7	4.5	6.7	7.4	6.7	6.4
	青森・秋田・岩手	4.4	5.0	5.6	7.9	9.4	8.5	7.1
	宮城・山形	5.9	6.5	6.5	11.1	10.3	8.2	9.0
	福島	5.1	7.1	6.0	9.8	9.4	7.7	7.7
	茨城・栃木・群馬	6.3	6.2	6.8	9.7	9.7	8.3	8.3
	首都圏	7.4	7.6	7.6	10.8	10.8	9.4	9.1
	新潟	6.0	6.5	6.0	10.4	10.7	8.7	8.1
	長野・山梨	6.5	6.1	7.2	8.9	9.7	8.5	8.7
	富山・石川・福井	6.6	7.3	7.2	8.6	10.4	8.8	8.7
	静岡	5.5	6.9	6.6	8.6	8.6	8.2	7.2
	東海	7.1	7.5	7.5	9.9	10.6	9.8	9.5
	関西	7.1	7.0	7.4	9.7	9.9	10.0	9.7
	岡山・広島・山口・鳥取・島根	6.3	7.0	7.0	10.0	9.1	8.2	7.9
	四国	5.6	5.8	6.8	8.5	8.8	8.6	7.1
	九州	5.3	5.4	5.0	8.7	6.9	7.1	6.7

※各サンプルごとに「挙式、披露宴・ウエディングパーティー総額(万円)」を「披露宴・ウエディングパーティー招待客人数(人)」で割って算出

1-4. 挙式、披露宴・ウェディングパーティーの人数や費用 <ご祝儀総額とカップルの自己負担額>

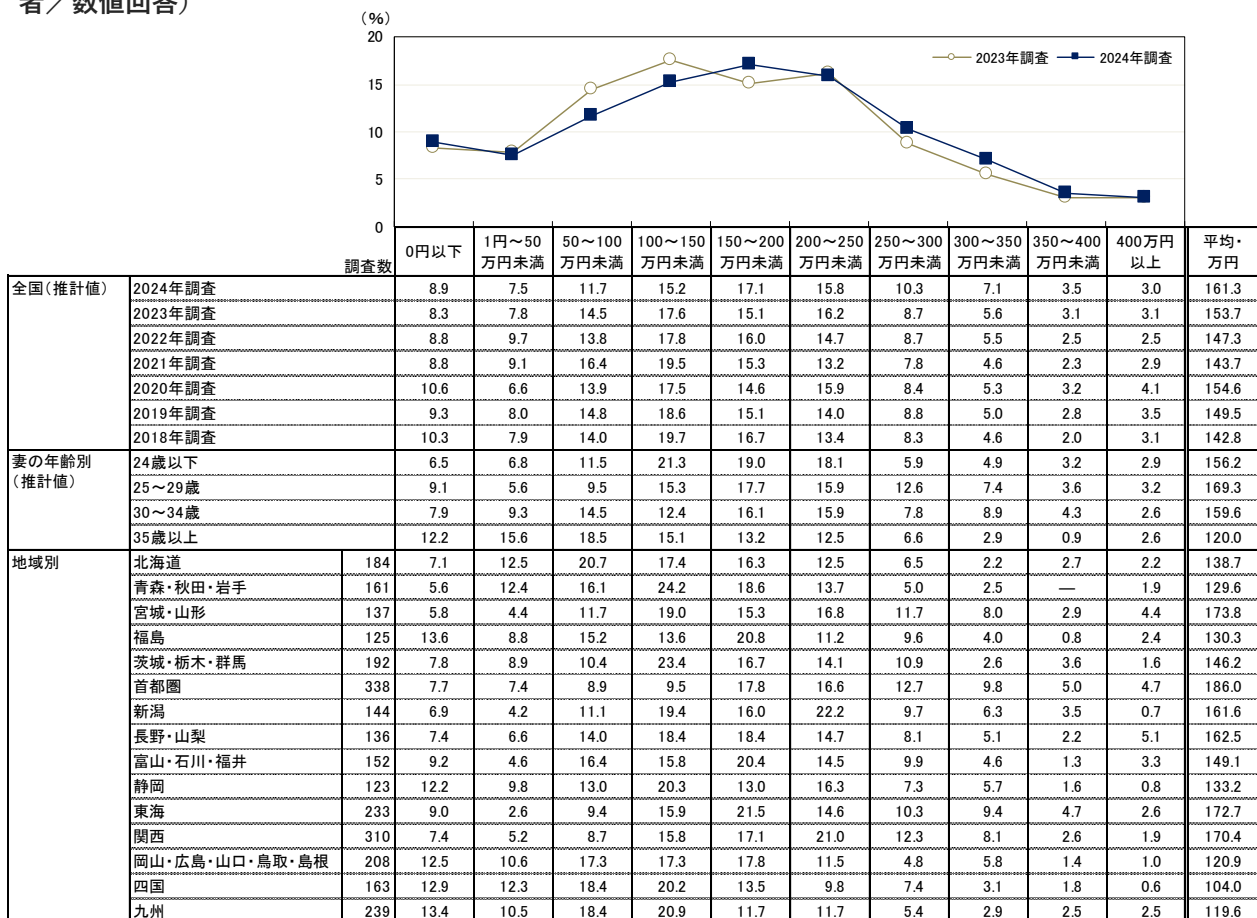
- ご祝儀総額の平均は205.6万円で、前年調査から7.8万円増加。
- 挙式、披露宴・ウェディングパーティーにおけるカップルの自己負担額の平均は161.3万円で、前年調査から7.6万円増加。

■ ご祝儀総額（ご祝儀制の披露宴・ウェディングパーティー実施者のうち、金額回答者／数値回答）



■ 挙式、披露宴・ウェディングパーティーにおけるカップルの自己負担額

（「挙式、披露宴・ウェディングパーティー総額」および「ご祝儀総額（または会費総額）」の金額回答者／数値回答）

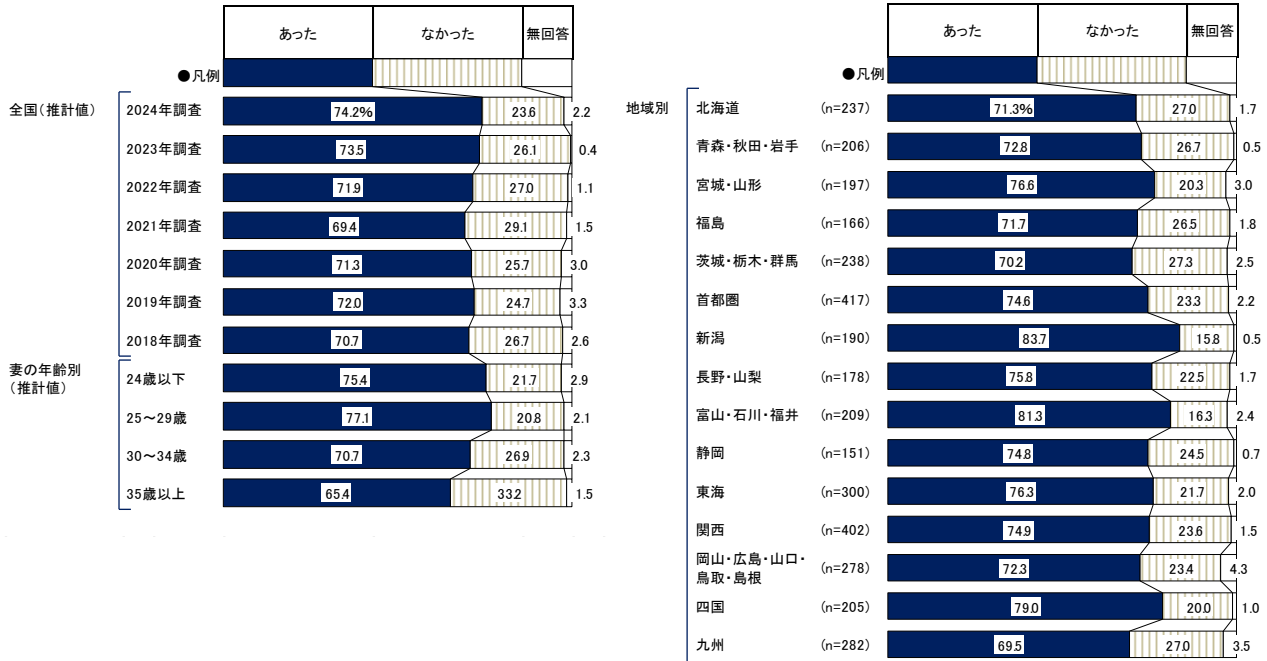


※各サンプルごとに「挙式、披露宴・ウェディングパーティー総額」から「ご祝儀総額(または会費総額)」を引いて算出
 ※「ご祝儀総額(または会費総額)」は披露宴・ウェディングパーティー実施者のみ聴取。挙式のみ実施者は挙式総額を自己負担額として算出
 ※「0円以下」: 挙式、披露宴・ウェディングパーティー総額とご祝儀総額(または会費総額)が同額もしくは挙式、披露宴・ウェディングパーティー総額をご祝儀総額(または会費総額)が上回った人の割合

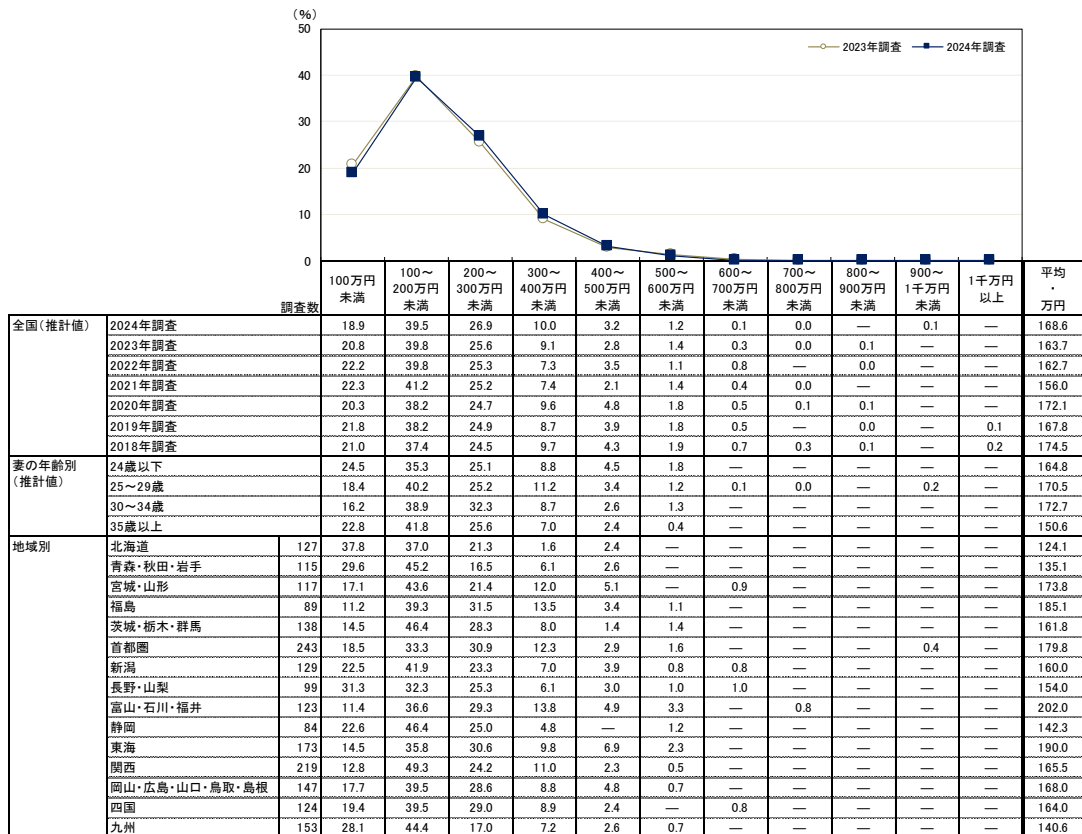
1-5. 挙式、披露宴・ウェディングパーティーの人数や費用 <親・親族からの援助額>

- 挙式、披露宴・ウェディングパーティーの費用面で親・親族からの援助が「あった」人は74.2%。
- 親・親族からの援助額のうち、挙式、披露宴・ウェディングパーティーに使った金額の平均は168.6万円で、前年調査から4.9万円増加。

■ 挙式、披露宴・ウェディングパーティーの費用面での親・親族からの援助有無（全体／単一回答）



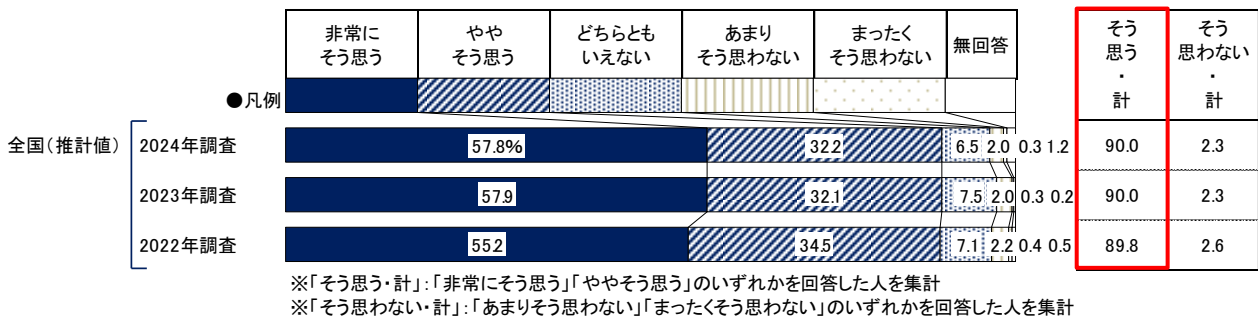
■ 親・親族からの援助額のうち、挙式、披露宴・ウェディングパーティーに使った金額（費用面で親・親族から援助があった人のうち、金額回答者／数値回答）



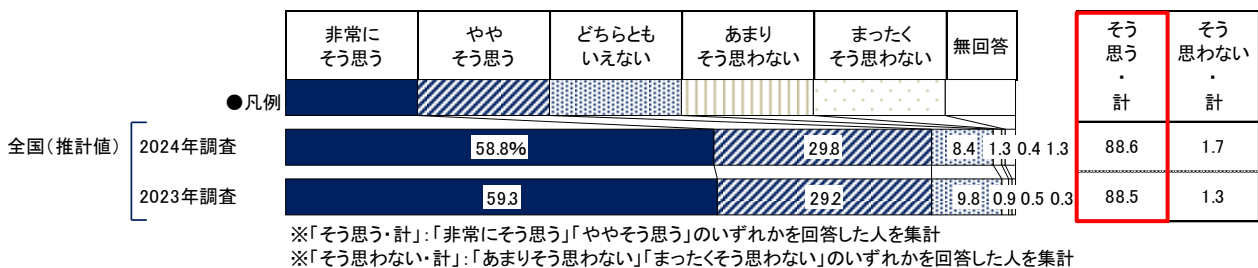
2. 結婚に対する考え方やライフスタイル・価値観

- 結婚に対する考え方において、結婚式の内容に関しては、定番やしきたりにとらわれず、二人の価値観に合った自由なやり方をすればよいと思う人（「そう思う・計」）が90.0%で、3年連続約9割。ライフスタイル・価値観において、ジェンダーにとらわれず、自由に望む生き方を選択できると思う人（「そう思う・計」）も88.6%で、2年連続約9割。形式や固定観念にとられない自由な結婚式への肯定的な考えが大多数となっている。
- 結婚に対する考え方において、結婚を機にイベントを行うときは、自分の所属するコミュニティごとに分けて実施したいと思う人（「そう思う・計」）は32.8%で、聴取開始年（2021年調査）から3.6ポイント増加し、過去最高となった。

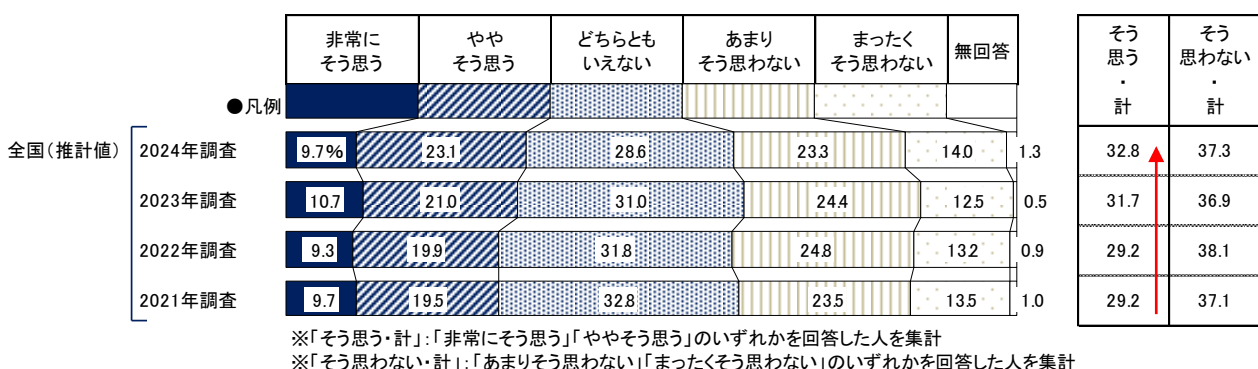
- 【結婚に対する考え方】結婚式の内容に関しては、定番やしきたりにとらわれず、二人の価値観に合った自由なやり方をすればよい（全体／単一回答）



- 【ライフスタイル・価値観】ジェンダーにとらわれず、自由に望む生き方を選択できる（全体／単一回答）



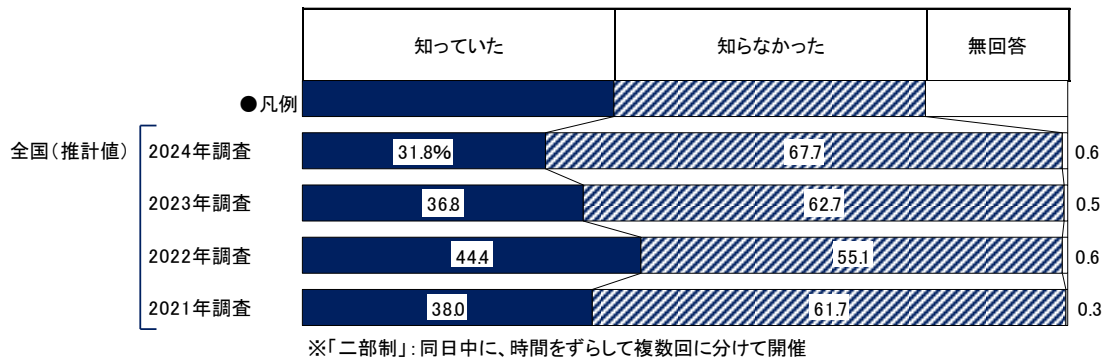
- 【結婚に対する考え方】結婚を機にイベントを行うときは、自分の所属するコミュニティごとに分けて実施したい（全体／単一回答）



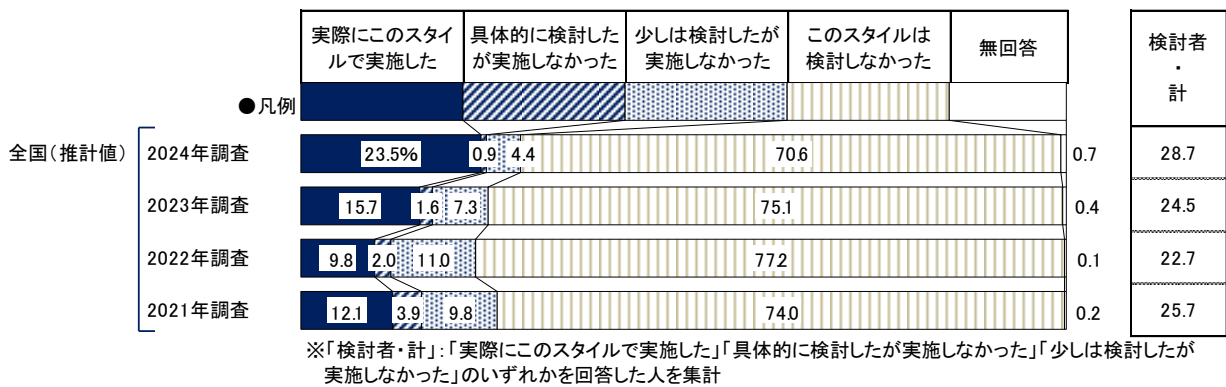
3-1. 結婚式の多様化におけるさらなる兆し <二部制の結婚式>

- 二部制の認知状況について、「知っていた」人は31.8%で、前年調査から5.0ポイント減少。聴取開始年（2021年調査）から6.2ポイント減少した。
- 二部制を知っていた人のうち、「実際にこのスタイルで実施した」人は23.5%で、前年調査から7.8ポイント増加。聴取開始年（2021年調査）から11.4ポイント増加した。

■ 二部制の認知状況（披露宴・ウエディングパーティー実施者／単一回答）



■ 二部制の検討・実施状況（披露宴・ウエディングパーティー実施者で二部制を知っていた人／単一回答）

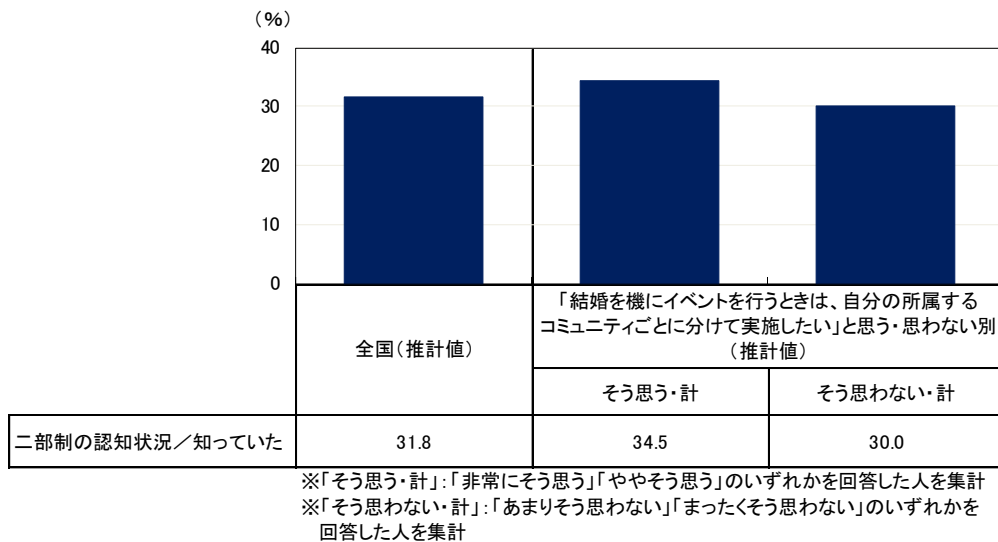


3-1. 結婚式の多様化におけるさらなる兆し <二部制の結婚式>

- 結婚を機にイベントを行うときは、自分の所属するコミュニティごとに分けて実施したいと思う人（「**そう思う・計**」）は、そう思わない人（「**そう思わない・計**」）よりも、二部制を「**知っている**」割合が4.5ポイント高い。
- 自分の所属するコミュニティごとに分けて実施したいと思う人（「**そう思う・計**」）は、そう思わない人（「**そう思わない・計**」）よりも、二部制の実施率（「**実際にこのスタイルで実施した**」割合）が4.1ポイント高い。また、「**検討者・計**」の割合も6.3ポイント高い。

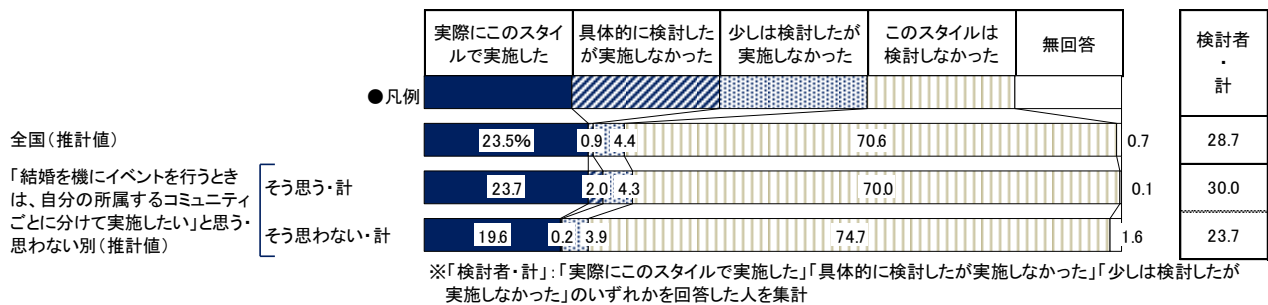
■ 二部制の認知状況

「結婚を機にイベントを行うときは、自分の所属するコミュニティごとに分けて実施したい」と思う・思わない別（披露宴・ウエディングパーティー実施者／単一回答）



■ 二部制の検討・実施状況

「結婚を機にイベントを行うときは、自分の所属するコミュニティごとに分けて実施したい」と思う・思わない別（披露宴・ウエディングパーティー実施者で二部制を知っていた人／単一回答）

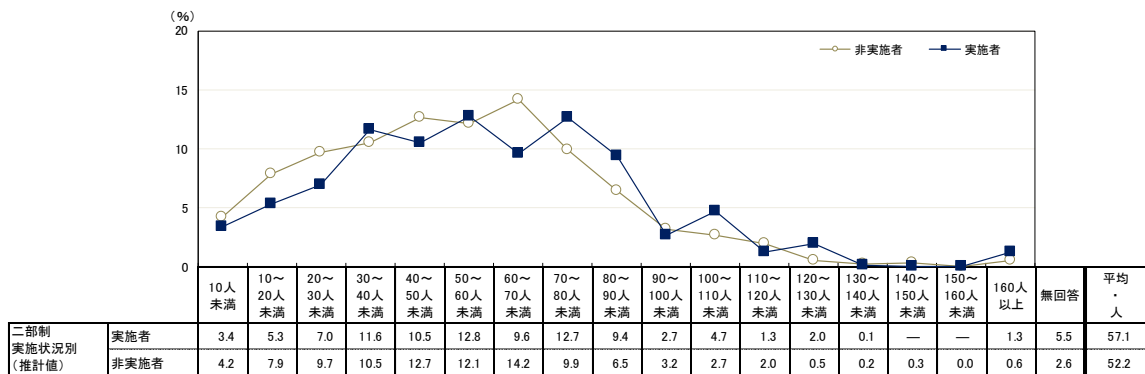


3-1. 結婚式の多様化におけるさらなる兆し <二部制の結婚式>

- 披露宴・ウエディングパーティーの招待客数の平均は、二部制実施者が57.1人で、二部制非実施者よりも4.9人多い。
- 挙式、披露宴・ウエディングパーティー総額の平均は、二部制実施者が367.3万円で、二部制非実施者よりも16.6万円高い。
- 二部制実施者は、二部制非実施者に比べて、結婚式を通して、列席者と二人の関係が深まったと思う割合（「そう思う・計」）が2.6ポイント高く、特に「非常にそう思う」割合は6.7ポイント高い。

■ 披露宴・ウエディングパーティーの招待客人数

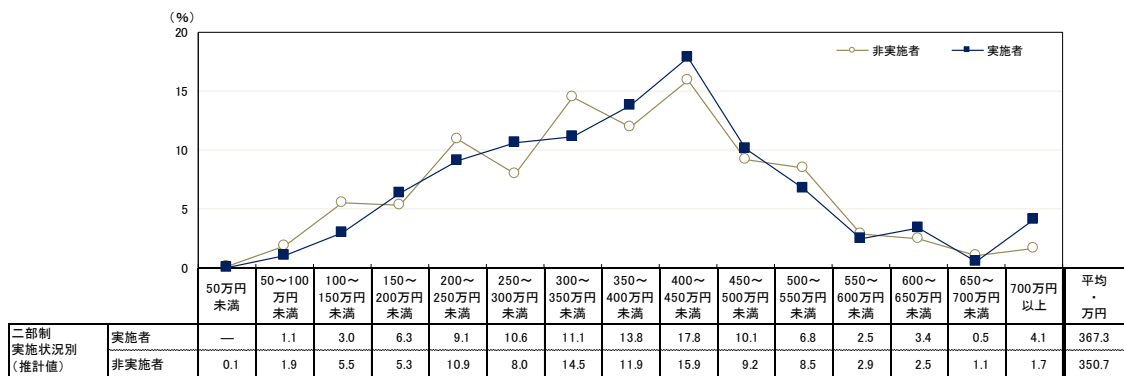
二部制実施状況別（披露宴・ウエディングパーティー実施者で二部制を知っていた人／数値回答）



※「実施者」：二部制について「実際にこのスタイルで実施した」と回答した人を集計
 ※「非実施者」：二部制について「具体的に検討したが実施しなかった」「少しは検討したが実施しなかった」「このスタイルは検討しなかった」のいずれかを回答した人を集計

■ 挙式、披露宴・ウエディングパーティー総額

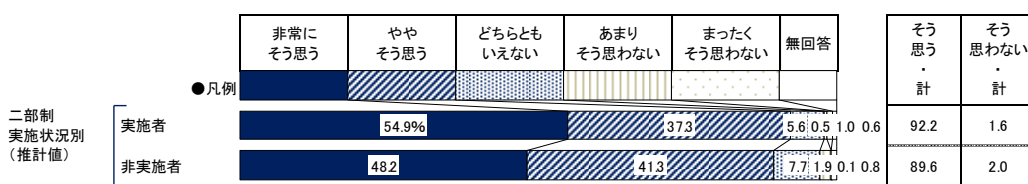
二部制実施状況別（披露宴・ウエディングパーティー実施者で二部制を知っていた人のうち、金額回答者／数値回答）



※「実施者」：二部制について「実際にこのスタイルで実施した」と回答した人を集計
 ※「非実施者」：二部制について「具体的に検討したが実施しなかった」「少しは検討したが実施しなかった」「このスタイルは検討しなかった」のいずれかを回答した人を集計

■ 結婚式を通して得たこと／結婚式を通して、列席者と二人の関係が深まったと思う

二部制実施状況別（披露宴・ウエディングパーティー実施者で二部制を知っていた人／単一回答）

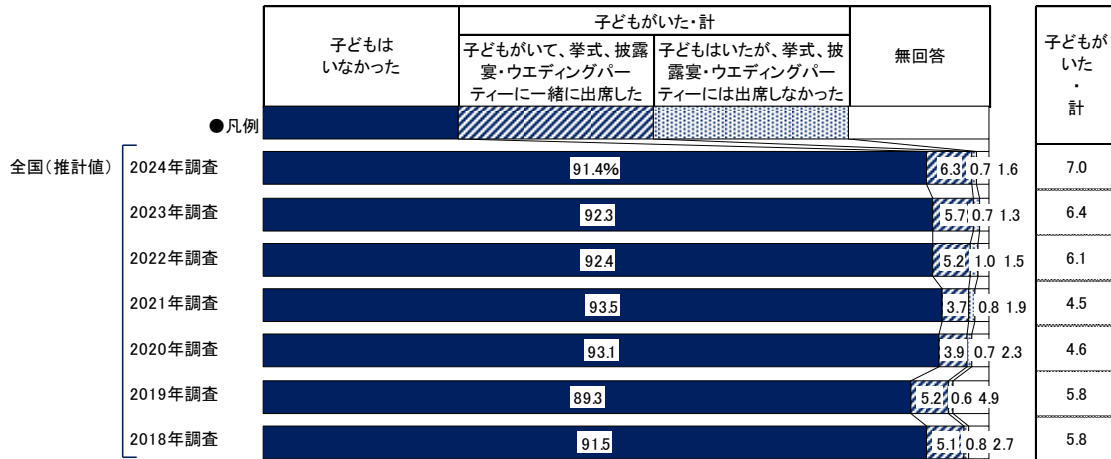


※「そう思う・計」：「非常にそう思う」「ややそう思う」のいずれかを回答した人を集計
 ※「そう思わない・計」：「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」のいずれかを回答した人を集計
 ※「実施者」：二部制について「実際にこのスタイルで実施した」と回答した人を集計
 ※「非実施者」：二部制について「具体的に検討したが実施しなかった」「少しは検討したが実施しなかった」「このスタイルは検討しなかった」のいずれかを回答した人を集計

3-2. 結婚式の多様化におけるさらなる兆し <子どもと一緒に実施する結婚式>

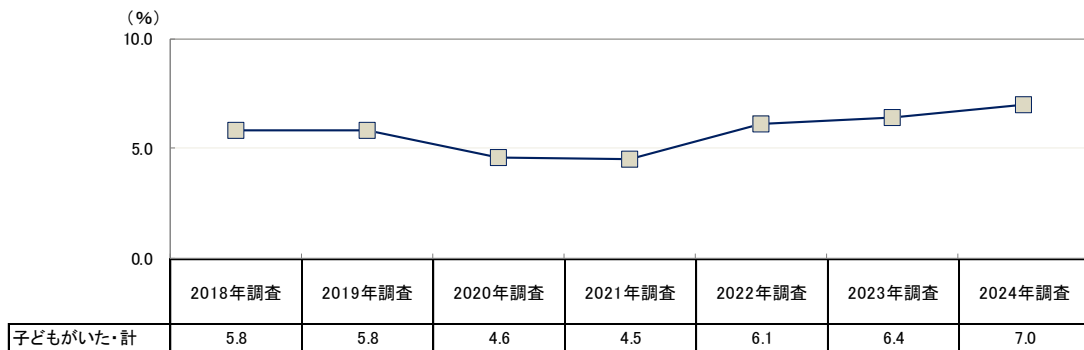
- コロナ禍を経て、挙式、披露宴・ウエディングパーティー当日に「子どもがいた・計」の割合が増加傾向。
- 「子どもがいて、挙式、披露宴・ウエディングパーティーと一緒に出席した」割合も2021年調査以降3年連続で増加。

■ 挙式、披露宴・ウエディングパーティー当日の子どもの出席状況（全体／単一回答）



■ 挙式、披露宴・ウエディングパーティー当日の子どもの出席状況のうち

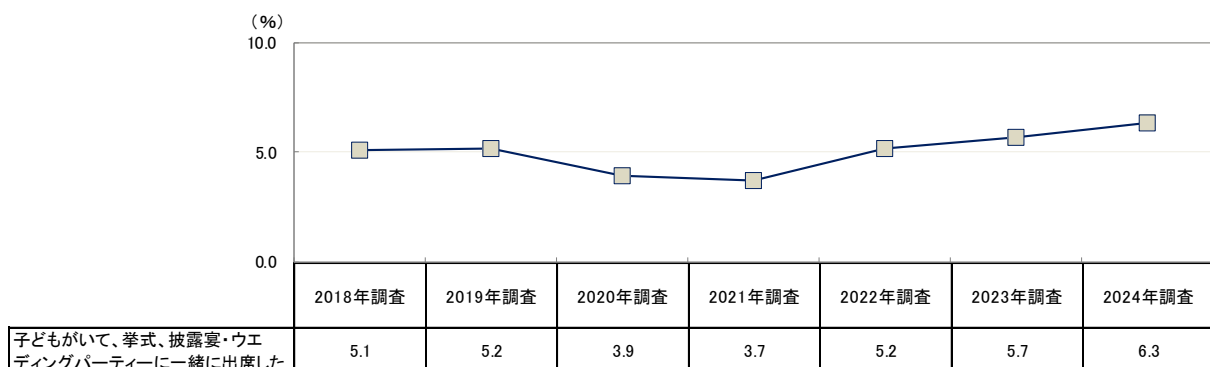
「子どもがいた・計」の割合推移（全体／単一回答）



■ 挙式、披露宴・ウエディングパーティー当日の子どもの出席状況のうち

「子どもがいて、挙式、披露宴・ウエディングパーティーと一緒に出席した」の割合推移

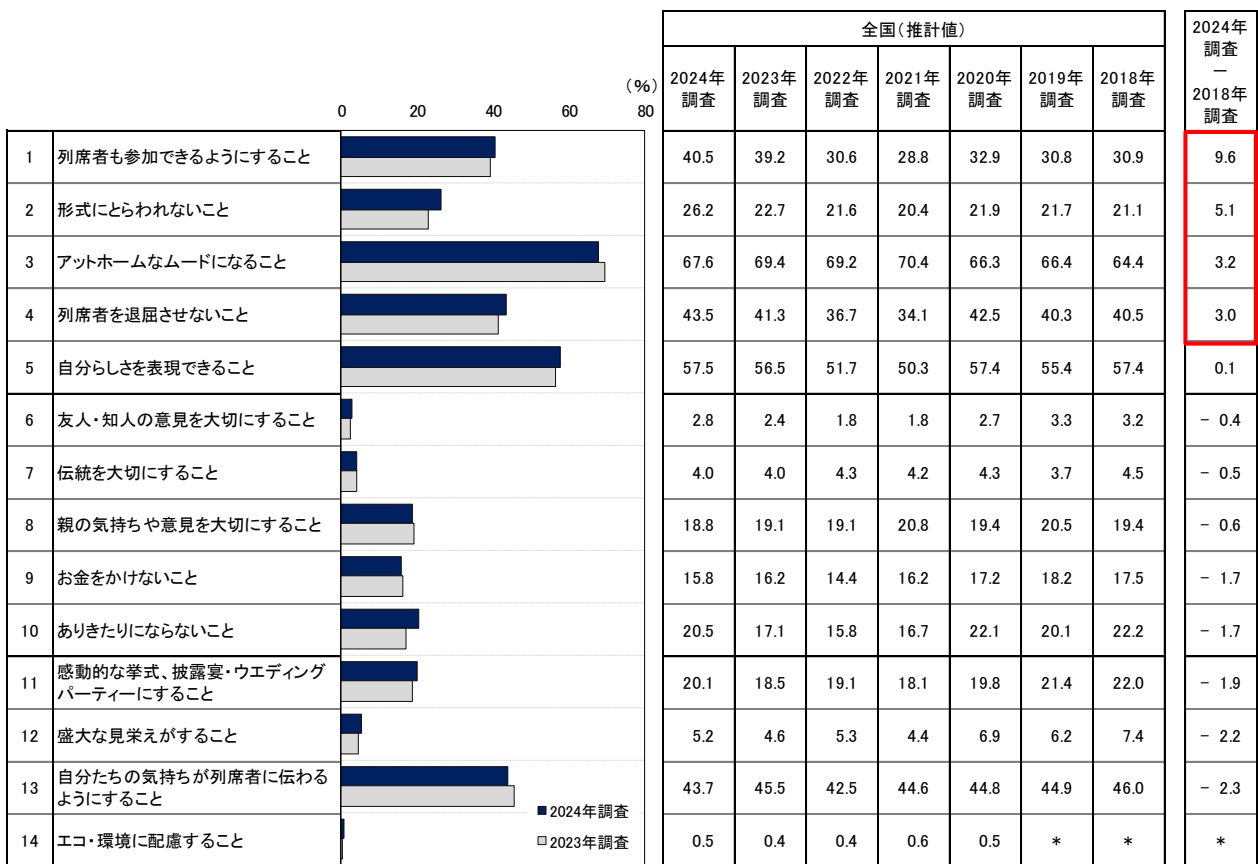
（全体／単一回答）



3-3. 結婚式の多様化におけるさらなる兆し <ゲスト参加型の結婚式>

- 挙式、披露宴・ウエディングパーティーの演出を決定する際に心がけたことのうち、2018年調査からの差が最も大きいのは「列席者も参加できるようにすること」で9.6ポイント増加している。次いで「形式にとらわれないこと」が5.1ポイント、「アットホームなムードになること」が3.2ポイント、「列席者を退屈させないこと」が3.0ポイント増加している。
- 披露宴・ウエディングパーティーに関して実施した演出（次ページ）では、「招待客みんなが参加できる演出を行う（キャンドルリレー、招待客同士のファーストバイトなど）」が前年調査から3.3ポイント増加。3年連続で増加し、コロナ禍前の2019年調査を超えて過去7年で最高となった。

■ 挙式、披露宴・ウエディングパーティーの演出を決定する際に心がけたこと（全体／複数回答）

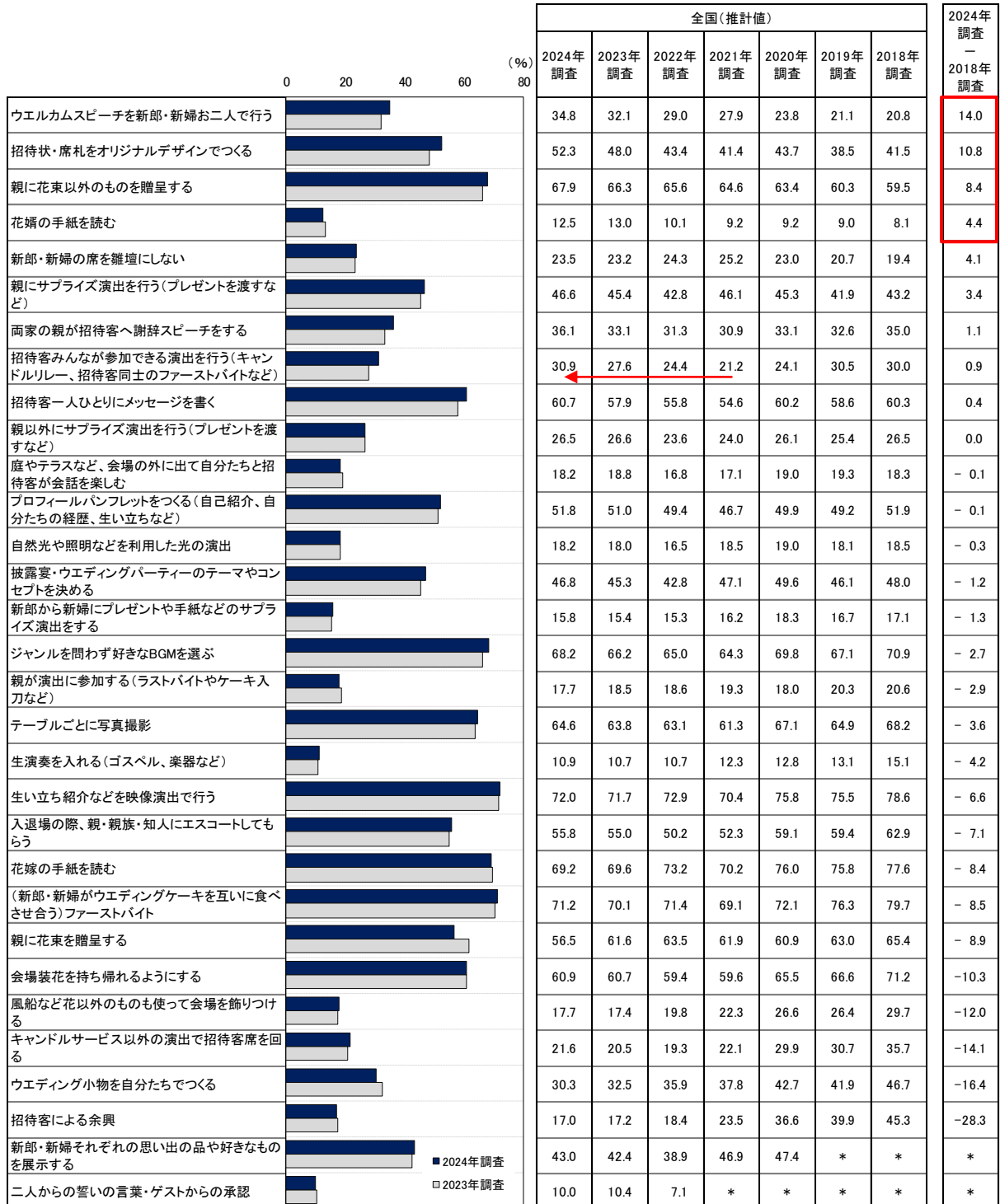


※「2024年調査-2018年調査」でポイント差がプラス方向に大きい順にソート

3-4. 結婚式の多様化におけるさらなる兆し <ジェンダーレスな結婚式>

- 披露宴・ウエディングパーティーに関して実施した演出のうち、2018年調査からの差が最も大きいのは「ウエルカムスピーチを新郎・新婦お二人で行う」で14.0ポイント増加している。次いで「招待状・席札をオリジナルデザインでつくる」が10.8ポイント、「親に花束以外のものを贈呈する」が8.4ポイント、「花婿の手紙を読む」が4.4ポイント増加している。

■ 披露宴・ウエディングパーティーに関して実施した演出 (披露宴・ウエディングパーティー実施者/複数回答)



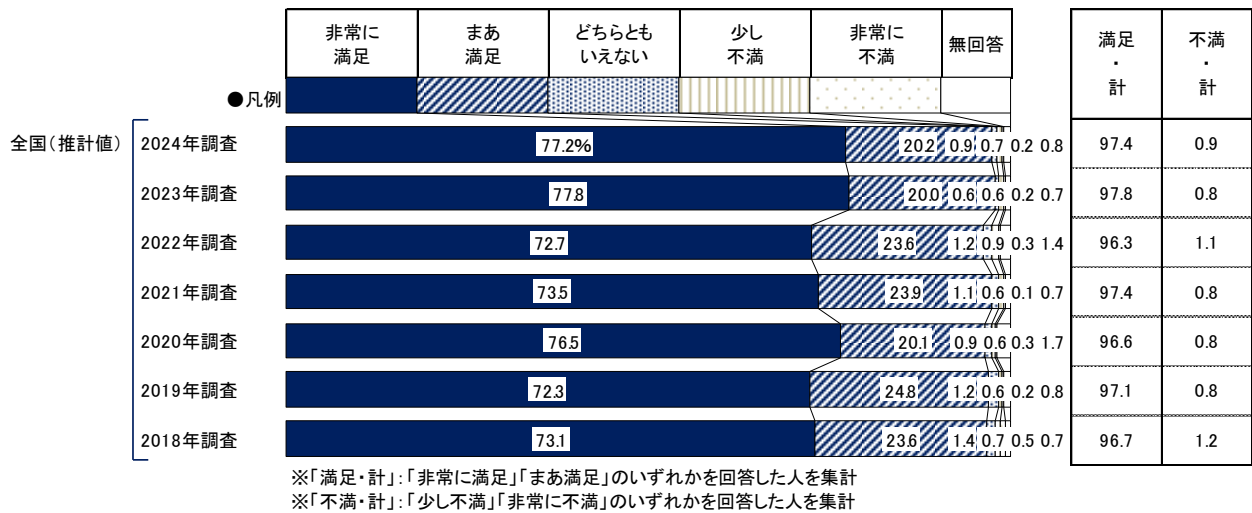
※2024年調査の構成比が10%以上の項目のみ表示
 ※「2024年調査-2018年調査」でポイント差がプラス方向に大きい順にソート

3-5. 結婚式の多様化におけるさらなる兆し <披露宴・ウエディングパーティーの満足度>

■ 披露宴・ウエディングパーティーの満足度は、結婚式のスタイルに関わらず引き続き高い。

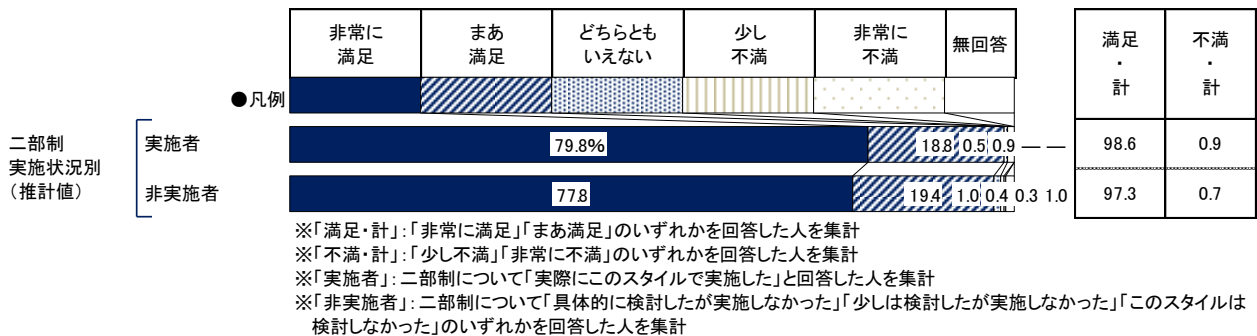
■ 披露宴・ウエディングパーティーの満足度

(披露宴・ウエディングパーティー実施者/単一回答)



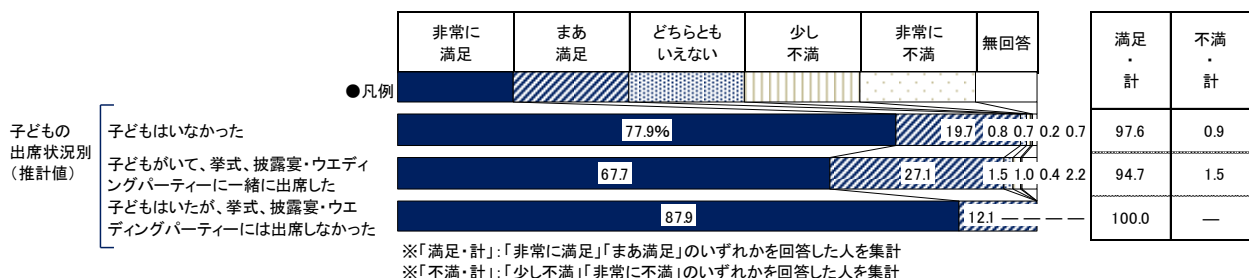
■ 披露宴・ウエディングパーティーの満足度

二部制実施状況別 (披露宴・ウエディングパーティー実施者で二部制を知っていた人/単一回答)



■ 披露宴・ウエディングパーティーの満足度

結婚式への子どもの出席状況別 (披露宴・ウエディングパーティー実施者/単一回答)



リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>